

もっと便利に！まちの公共交通

予約型乗合タクシー社会実験運行  
公共交通の社会実験

町では、安心・快適な生活を支える持続可能な公共交通を目標に、昨年10月から公共交通の社会実験を行っています。



具体的には、予約があれば自宅近くから病院や買い物先など、指定の乗降場所まで移動できる「予約型乗合タクシー」の運行。頓原地区と来島地区に導入し、頓原地区

では「花栗・長谷・獅子」「奥畑・佐見・頓原」、来島地区では「野萱・上来島・小田」「下来島」の各エリア別に運行しています。バス停から遠い地区に住んでいる人も、公共交通を利用しやすくなりました。

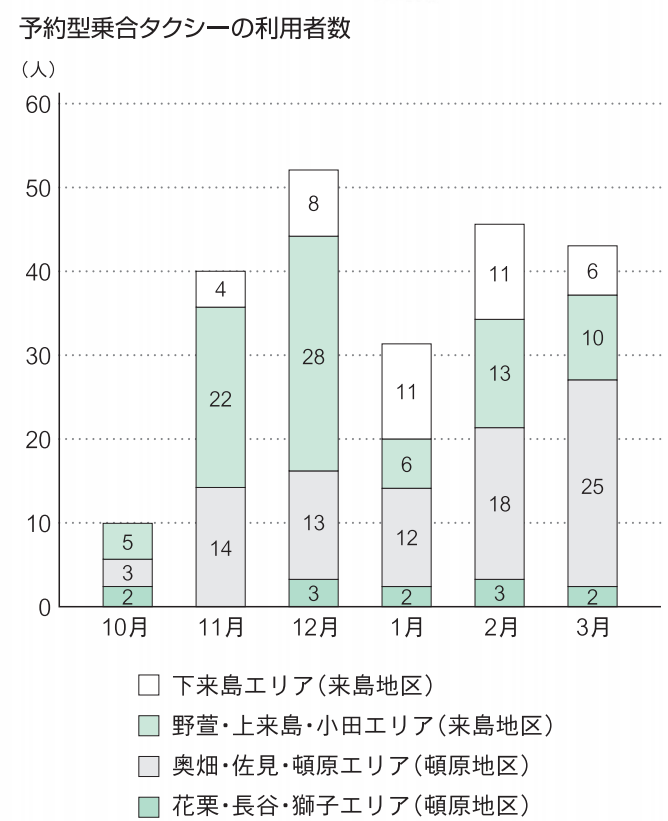
併せて、生活路線バス（町営バス）も移動ニーズに合った効率的な運行を目指し、ダイヤ改正やルートの見直し、飯南病院など主要施設への乗り入れを実施しました。

予約型乗合タクシーの利用状況

3月末の予約型乗合タクシーの利用登録者数は、頓原地区87人、来島地区95人。

利用者は、社会実験開始時に比べると増加していますが、利用登録者数に対して実際の利用者数は少ない状況です。グラフを見ると、3月の利用者数は43人、利用登録者数の約24%です。

今後は、引き続き社会実験を実施しながら、より多くの人に予約型乗合タクシーを利用していただけるよう、運行エリアや運行日などの見直しなどを検討していきます。



本格運行のために  
町民の皆さんの声が必要です

頓原地区と来島地区に導入した予約型乗合タクシーについては、利用登録者へのアンケート調査等を実施し、本格運行に向けた検討を行います。

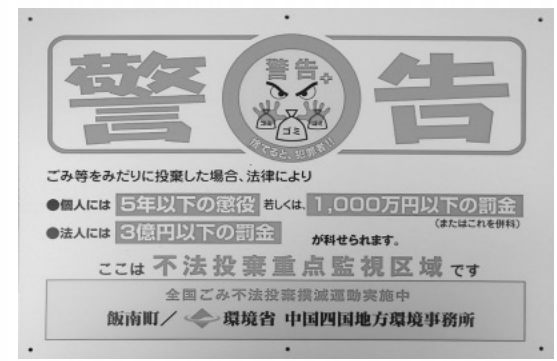
また、社会実験を実施している地区以外でも、今後、予約型乗合タクシーの導入や生活路線バス（町

■お問合せ  
住民課  
電話76・2213

不法投棄について  
のお願い

町内でも、家電製品などごみの不法投棄が発生しています。ごみ等のみだりに投棄した場合は、法律により厳しく罰せられます。ごみは、決められた場所に決められた方法できちんと廃棄しましょう。不法投棄と思われるごみ等を発見した場合は連絡をお願いします。

■お問合せ  
住民課  
電話76・2213



ごみの出し方を再確認

- ①資源ごみになる「食べ物・飲み物が入っていた容器(ビン・カン)は、きれいに洗う。(入浴剤の容器は、資源ごみではありません。注意してください。)
- ②資源ごみとして出す「新聞紙」の中には、チラシ等が紛れこまないように区分する。
- ③袋には必ず名前を書いて出す。

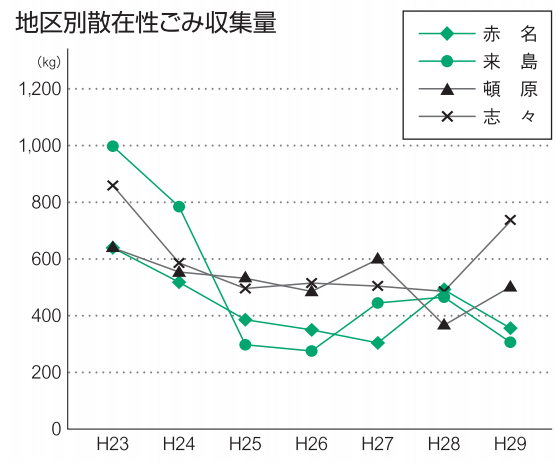
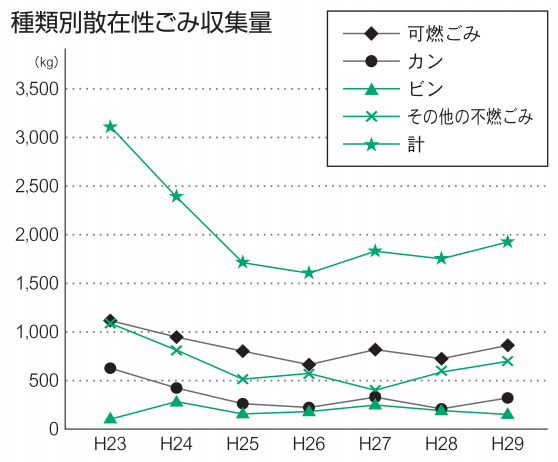
「家庭ごみの分け方・出し方」を確認して、正しく分別してゴミを出してください。(いしクリーンセンターHPでも確認できます。)

■お問合せ  
いしクリーンセンター  
電話72・9217  
住民課  
電話76・2213

収集できない理由	件数
氏名の記載無し	30
直接持ち込みが必要	20
袋の間違い	10
ごみの出し方の間違い	107
ごみ袋を2重にしている	16
容量を超えている	3
計	186

(H28.4~H29.3)

平成29年度散在性ごみ収集活動(収集結果)  
4月9日(日)実施 ご協力ありがとうございました



種別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
可燃ごみ	1,170	950	780	640	800	670	780
カン	660	450	280	220	350	230	310
ビン	120	290	170	170	250	229	150
その他の不燃ごみ	1,140	780	490	570	420	580	710
計	3,090	2,470	1,720	1,600	1,820	1,709	1,950

地区名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
赤名	620	520	390	340	320	463	363
来島	1,000	790	300	270	420	430	317
頓原	620	570	530	480	600	366	507
志々	850	590	500	510	480	450	763
計	3,090	2,470	1,720	1,600	1,820	1,709	1,950

このほかに、タイヤ15本、バッテリー1個、消火器1本が収集されました。

平成29年度の特徴  
昨年と比較して、ビン類を除く全てのゴミが増加。頓原・志々地区では、その他の不燃ゴミが多く集積されたため、極端な増加となっています。今後も、美しい町づくりにご理解・ご協力をお願いします。